

一般社団法人 薬学教育協議会

第 42 回理事会議事録

日 時：平成 27 年 5 月 28 日（木） 14:00～17:00

場 所：日本薬学会長井記念館 1 階 A 会議室

出席者：別記 1

配付書類：別記 2

○理事の辞任、交代について

平成 27 年度社員代表者の交代に伴い、私立大学西ブロックから選出された棚橋孝雄理事（神戸薬科大学教授）が理事を辞任した（定款第 29 条第 2 項「社員代表者の中から選任された理事が社員代表者でなくなったときは理事資格を喪失する。」による）。

また、教育関連団体から選出された理事のうち、国公立大学薬学部長（科長・学長）会議の幹事（社員代表者）が平嶋尚英教授（名古屋市立大学大学院薬学研究科）から杉山政則教授（広島大学薬学部）に、公益社団法人日本薬学会の会頭（社員代表者）が、柴崎正勝氏から太田茂氏に交代した。第 12 回薬学教育協議会社員総会にて、教育関連団体選出の理事については、後任の社員代表者を理事とすることが承認されているため、杉山教授と太田氏が理事となった。なお、棚橋教授からは辞任届、杉山教授と太田氏からは就任承諾書を受領した。

棚橋教授の辞任で欠員となった西ブロックの理事選出数は、2 名以上 3 名以内となっているので、新たな理事を選任しないこととし、理事総数は 19 名と決まった。

○定足数について

理事総数 19 名中、11 名の理事が出席した（内 1 名遅刻）。定款第 37 条に定める定足数を満たしているため、本日の理事会は成立すると須田事務局長が報告した。なお、欠席者 8 名中 7 名が委任状を提出し、そのうち 6 名は議決を議長に委任していることを報告した。また、監事 2 名、顧問 2 名、唐沢公認会計士事務所から 2 名が出席していることを報告した。なお、嶋田理事の代理でオブザーバーとして、三田智文氏の出席を認めた。

○協議事項

1. 平成 26 年度事業報告（案）について

資料 1（平成 26 年度事業報告（案））に基づき、薬学教育協議会本部の事業について、平成 26 年度事業計画に沿って事業を実施したと須田事務局長が報告した。

平成 26 年度事業報告（案）は異議なく承認された。

2. 平成 26 年度決算報告（案）について

資料 2（平成 26 年度財務諸表及び収支計算書（案））に基づき、薬学教育協議会本部及び各地区調整機構の収支について、唐沢公認会計士事務所円城寺氏が説明した。

平成 26 年度決算報告（案）は異議なく承認された。

### 3. 監事監査報告

資料 3（平成 26 年度監査報告書）に基づき、上記の平成 26 年度事業報告および決算報告に対して、齊藤監事が監査報告を行った。

平成 26 年度監査報告については、一同異議なく承認された。

### 4. 理事会の運営について

資料 3（平成 26 年度監査報告書）2.監査意見(4)のとおり、理事会の流会を避けるための方策を協議した。三輪監事からは、理事の多数が欠席しやむを得ず理事会が流会となる場合でも、会議は開催し欠席理事に代理をたて十分に意見を述べ、かつ会議での議論を代理を立てた理事に報告し、書面での決議に反映させるべきである。代理人はオブザーバーで理事会は成立していないため、決議は別途、書面理事会として行ってはどうか、との発言があった。

特に 3 月の理事会については、日程を配慮してほしいとの意見もあったため、後日メールにて理事会の日程について、改めて理事に確認することになった。

### 5. 社員総会議事次第について

資料 5（第 13 回薬学教育協議会社員総会議事次第（案））に基づき、須田事務局長が説明し、一同異議なく、本件は承認された。

### 6. 参与の委嘱について

定款第 48 条第 2 項「顧問及び参与は、代表理事が推薦し、理事会の決議を経て委嘱する。」により、望月代表理事が本間浩教授（北里大学薬学部）を参与として推薦し、一同異議なく承認された。

### 7. 事務局長の交代について

阿刀田英子氏（明治薬科大学名誉教授）を平成 27 年 4 月 1 日付にて事務局に採用した。定款第 53 条第 3 項「事務局長及び重要な職員は、代表理事が理事会の承認を得て任免する。」に基づき、同氏を平成 27 年 6 月 27 日より事務局長に任命することについて、一同異議なく承認された。

### 8. 地区調整機構委員長の交代について

近畿地区調整機構総会において委員長の交代が承認された。地区調整機構委員長は薬学教育協議会の重要な使用人であるため、第 40 回理事会で承認された理事会運営規則に基づき、新委員長については理事会の承認を得て代表理事が業務を委託するという法人法の手続きが必要である。橋詰勉教授（京都薬科大学）を近畿地区調整機構委員長として委任することは、一同異議なく承認された。

### 9. その他

#### 1) 理事運営規則の施行日について

資料 7（細則第 3 号 理事会運営規則）の施行日は、本日（平成 27 年 5 月 28 日）とすることが決まった。なお、本規則は、第 20 条のとおり、理事会の決議により変更できると須田事務局長が補足説明した。

## 2) 預り金（任意団体）について

薬学教育協議会が、有限責任中間法人から一般社団法人に変更した際に引き継いだ預り金の取り扱いについて、唐沢公認会計士事務所唐沢氏と円城寺氏が経緯や状況を説明した。今後収入として処理する方向で、引き続き唐沢氏、円城寺氏に協力を依頼した。

## 3) AASP 薬学部長フォーラムの残金について

AASP 第3回アジア薬科大学薬学部長フォーラム2014において、410,889円の残金が出た。残金については、主催団体で協議した結果、アジアを始めとする海外へ向けて日本の薬学教育を紹介するために、薬学教育協議会のウェブサイトの英文化や、パンフレットの作成等に充てることを決定したこと、また、10月30日～11月2日台湾にて開催されるカンファレンスへの派遣費用に充てることを望月代表理事が報告した。出席者から異議はなかった。

## ○報告事項

### 1. 文部科学省委託事業について（平成26年度事業報告）

資料4（文部科学省委託事業 平成26年度報告書（冊子））に基づき、薬学教育調査・研究・評価委員会の委員長である伊東業務執行理事が、平成26年度の事業内容（ブレアンケートの実施、ワークショップの実施等）について報告した。

### 2. 第26回病院・薬局実務実習中央調整機構委員会について

資料9-1（第26回病院・薬局実務実習中央調整機構委員会議事録）のとおり、第26回病院・薬局実務実習中央調整機構委員会が開催されたと望月代表理事が報告した。

また、薬学実務実習に関するガイドライン（資料10-1）と、各団体において取り組むべき事項（資料10-2）について伊東業務執行理事が説明した。薬学教育調査・研究・評価委員会が中心となり、日本薬剤師会と日本病院薬剤師会と連携して平成31年度に向けてシミュレーションを実施すると説明し、協力の依頼をした。

### 3. 第2回薬学教育教科担当教員中央会議について

資料11（第2回薬学教育教科担当教員中央会議）のとおり、第2回薬学教育教科担当教員中央会議が開催されたと望月代表理事が報告した。

### 4. その他

#### 1) AASPカンファレンスについて

10月30日～11月2日台湾にて開催される、AASPカンファレンスには、薬学教育調査・研究・評価委員会の平田収正委員（大阪大学大学院薬学研究科）を派遣することになったと望月代表理事が報告した。

2) 大阪医薬品協会の退会について

薬学教育協議会正会員であった大阪医薬品協会から、退会の申し出があった。

なお、現在の会員は資料 13（平成 27 年度薬学教育協議会 会員名簿）のとおり 99 名、賛助会員が 1 名であると確認した。現在社員にニューズレターを発行しているが、一般の方や学生にも薬学教育協議会のウェブサイトを見てもらうにはどのようにしたらよいか。何か意見があれば寄せてほしいと望月代表理事が発言した。

3) 支部運営規則（案）について

資料 14（支部運営規則（案））に基づき、須田事務局長が説明した。5 月 25 日に開催された、第 27 回病院・薬局実務実習中央調整機構委員会では、本案について反対意見は出されなかった。次回の中央調整機構委員会において決定し、その後理事会に諮る予定であると説明した。

4) 薬学教育協議会ウェブサイトの英語版作成について

ウェブサイトの英語版作成に向けて、富田業務執行理事から追加資料（薬学教育協議会ホームページの英語版作成について）のとおり提案があった。なお、現在、改訂モデル・コアカリキュラムについて検討している文部科学省の委員会において、薬学関連用語の英訳の必要性が問われている。この問題は、薬学関連団体間で連携が必要であり、いずれ一元化した方が良く市川理事が発言した。

5) 三輪監事より話題提供

三輪監事から話題提供があった。なお、社員総会においても講演を依頼することになった。

以上、相違ありません。

平成 27 年 7 月 6 日

一般社団法人 薬学教育協議会

代表理事 望 月 正 隆

(押印済み)

監 事 三 輪 亮 寿

(押印済み)

監 事 齊 藤 勲

(押印済み)

別記1 一般社団法人 薬学教育協議会 第42回理事会出席者名簿

	氏名 (敬称略)	所属	出欠
代表理事	望月 正隆	学術正会員 (東京理科大学)	○
業務執行理事・ 事務局長	須田 晃治	学術正会員 (明治薬科大学名誉教授)	○
業務執行理事・ 専務理事	富田 基郎	学術正会員 (昭和大学名誉教授)	○
業務執行理事	伊東 明彦	学術正会員 (明治薬科大学)	○
業務執行理事	伊藤 智夫	北里大学薬学部	○
業務執行理事	増野 匡彦	学術正会員 (慶應義塾大学)	欠
理事	市川 厚	武庫川女子大学薬学部	○
理事	乾 賢一	京都薬科大学	欠
理事	嶋田 一夫	東京大学大学院薬学系研究科	欠
	三田 智文	東京大学大学院薬学系研究科	代理
理事	高倉 喜信	京都大学大学院薬学研究科	○
理事	高山 廣光	千葉大学大学院薬学研究院	欠
理事	望月 眞弓	慶應義塾大学薬学部	○
理事	山元 俊憲	昭和大学薬学部	欠
理事	杉山 政則	国公立大学薬学部長 (科長・学長) 会議	欠
理事	井上 圭三	日本私立薬科大学協会、薬学教育評価機構	欠
理事	山本 信夫	公益社団法人日本薬剤師会	欠
理事	北田 光一	一般社団法人日本病院薬剤師会	○
理事	豊島 聰	(財) 日本薬剤師研修センター	○
理事	太田 茂	公益社団法人日本薬学会	○

	氏名 (敬称略)	所属	出欠
監事	三輪 亮寿	三輪亮寿法律事務所	○
監事	齊藤 勲	元厚生省大臣官房	○

	氏名 (敬称略)	所属	出欠
顧問	井村 伸正	公益財団法人麻薬・覚せい剤乱用防止センター	○
顧問	百瀬 和享	(昭和大学名誉教授)	○
	阿刀田 英子	薬学教育協議会	○

**別記 2** 配付資料

- 資料 1 平成 26 年度事業報告（案）
- 資料 2 平成 26 年度財務諸表及び収支計算書
- 資料 3 監事監査報告書（当日配付）
- 資料 4 会議日程案
- 資料 5 第 13 回薬学教育協議会社員総会議事次第（案）
- 資料 6 平成 27 年度地区調整機構委員長名簿
- 資料 7 （細則第 3 号）理事会運営規則
- 資料 8 平成 26 年度文科省委託事業報告書（当日配付）
- 資料 9-1 第 26 回病院・薬局実務実習中央調整機構委員会議事録
- 資料 9-2 平成 28 年度実務実習実施日程案
- 資料 10-1 ガイドライン（「薬学実務実習に関する連絡会議」資料）
- 資料 10-2 各団体が取り組むべき事項（「薬学実務実習に関する連絡会議」資料）
- 資料 11 第 2 回薬学教育教科担当教員中央会議議事録
- 資料 12 AASP カンファレンス案内
- 資料 13 平成 27 年度会員名簿
- 資料 14 支部運営規則（案）（当日配付）
- 追加 薬学教育協議会ホームページの英語版作成について
- 追加 三輪監事 話題提供に関する資料
- 第 41 回書面による理事会 議事録